

原文

文化闘争に関する記述として、不正確である。

ま
ず、プロイセン中心の国政に抵抗する南西部カトリック勢力を抑えよ
うとして文化闘争^{Kulturkampf}₁₈₇₁₋₈₀が展開された。ついで社会主義勢力の成長を妨げる
ために、

(p.199 側注7)

7 文化闘争 カトリック側が「文化闘争」と称して激しく抵抗した。結局、社会主義勢力にそなえる必要から、カトリックを味方につけるためにビスマルクは抑圧政策を転換した。

修正文

ま
ず、カトリックへの弾圧^{だんあつ}が行われた(文化闘争^{Kulturkampf}₁₈₇₁₋₈₀)。ついで社会主義勢
力の成長を妨げるために、

7 文化闘争の背景 カトリックは、反プロイセン意識の強い南ドイツに多かった。また、ドイツ国内にあって差別されていたポーランド人も大多数がカトリックだった。しかし結局ビスマルクは、社会主義勢力にそなえる必要から、カトリックを味方につけるために弾圧政策を中止した。